

予算及び事業の経営方針

令和3年度予算の概要

1 業務の予定量

区 分	水 道 事 業	工業用水道事業	公共下水道事業
給水戸数, 給水事業件数及び排水戸数	12,838 戸	6 事業所	12,091 戸
年間総給排水量	3,111,217 m ³	9,090,000 m ³	7,500,000 m ³
一日平均給水量	8,524 m ³	24,904 m ³	—
主要な建設改良事業	防鹿水源地1号ろ過池改良工事 123,100 千円 小方二丁目地内配水管改良工事 40,000 千円	1期工水用送水ポンプ高圧ケーブル更新工事 19,800 千円 1期工水小方配水流量計更新工事 2,486 千円	小方排水区雨水函渠整備工事 210,000 千円 大竹下水処理場エタソク・フロー改築更新工事 150,000 千円

2 収益的収入及び支出

(単位: 千円)

区 分		水 道 事 業	工業用水道事業	公共下水道事業
収 入	事業収益 (A)	578,351 千円	551,097 千円	1,043,069 千円
	営業収益	459,872 千円	513,175 千円	738,606 千円
	営業外収益	118,477 千円	37,400 千円	304,462 千円
	特別利益	2 千円	522 千円	1 千円
支 出	事業費 (B)	553,572 千円	459,586 千円	972,740 千円
	営業費用	539,132 千円	386,921 千円	917,952 千円
	営業外費用	11,439 千円	70,664 千円	51,786 千円
	特別損失	2,001 千円	1,001 千円	2,002 千円
	予備費	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円
差引額 (A) - (B)		24,779 千円	91,511 千円	70,329 千円

3 資本的收入及び支出

(単位：千円)

区 分		水 道 事 業	工業用水道事業	公共下水道事業
収 入	資本的收入 (A)	247,504 千円	182,001 千円	1,182,032 千円
	企業債	169,600 千円	182,000 千円	412,600 千円
	負担金	44,400 千円		90,262 千円
	補助金	7,103 千円		379,004 千円
	水洗化貸付金回収金			165 千円
	固定資産売却代金	1 千円	1 千円	1 千円
支 出	資本の支出 (B)	779,743 千円	519,024 千円	1,073,316 千円
	建設改良費	429,854 千円	31,987 千円	875,762 千円
	企業債償還金	48,889 千円	457,637 千円	194,717 千円
	長期借入金償還金		26,400 千円	
	負担金		2,000 千円	
	他会計貸付金	300,000 千円		
	庁舎建設負担金			1,237 千円
	水洗化貸付金			600 千円
	予備費	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円
差引額 (A) - (B)		△532,239 千円	△337,023 千円	108,716 千円

区 分	水 道 事 業	工業用水道事業	公共下水道事業
補てん額	532,239 千円	337,023 千円	
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	44,253 千円	3,090 千円	
過年度分損益勘定留保資金	487,986 千円	87,920 千円	
当年度分損益勘定留保資金		234,150 千円	
利益剰余金		11,863 千円	

令和3年度事業の経営方針

水道事業につきましては、給水人口の減少等による使用水量の減少に伴って、料金収入が減少傾向にあります。一方で、今後老朽化施設の更新、耐震化を図っていく必要があることから厳しい経営状況にあるといえます。

いっそうの経費の節減等による経営の健全化に努め、いつでも安全で良質な水の安定供給の実現に向けて取り組んでまいります。

工業用水道事業につきましては、企業債償還利息や減価償却費が経営を大きく圧迫していることから、企業債償還の平準化を図るなど経営努力を続けていますが、厳しい経営環境にあります。

引き続き、安定した工業用水の供給を行っていくためにも経費節減を図り経営の健全化に努めるとともに、本市の産業の活性化に寄与するよう取り組んでまいります。

公共下水道事業につきましては、昭和35年より整備に着手し、昭和45年に供用が開始され、事業認可区域内における整備はほぼ完了しています。

そのため、施設の老朽化が進み、改築更新費が増大している一方で、下水道使用料が年々減少傾向にあるなど、非常に厳しい経営状況におかれています。

今後も、安心して快適な生活を営むための良好な生活環境の維持と公共用水域の水質保全のために、いっそうの経費の節減等による経営の健全化に努めてまいります。